

自治協ニュース

第3006号

発行者
八本松住民自治協議会

H30. 12. 20

各地で防災研修 大雨災害から身を守るために

西日本豪雨災害記録動画を上映 八本松地域で何が起こったか

講演 気象情報の入手 広島土砂災害の教訓 どこが土砂災害警戒区域か 災害復旧事業の計画

この記録は、災害復旧と防災対策を進めるために住民自治協本部が作成した動画。内容は、地区別の災害件数を示し、災害の起きやすい地域と災害に強い地域があることに言及している。また、災害が起るまでの気象情報や市からの防災情報や時系列でまとめより早い段階の避難を呼びかけている。続いて、災害直後の被災状況やその後の住民の皆さんによ

今年、西日本豪雨が起きた7月から11月までの間、八本松住民自治協議会の7防災会では豪雨災害をテーマに防災研修が行われた。この研修会は、八本松地域の災害状況を記録した動画の放映後、気象情報の入手方法、広島土砂災害の教訓、どこが土砂災害警戒区域か、災害復旧事業計画について講演が行われた。

西日本豪雨災害 八本松の記録

この記録は、災害復旧と防災対策を進めるために住民自治協本部が作成した動画。内容は、地区別の災害件数を示し、災害の起きやすい地域と災害に強い地域があることに言及している。また、災害が起るまでの気象情報や市からの防災情報や時系列でまとめより早い段階の避難を呼びかけている。続いて、災害直後の被災状況やその後の住民の皆さんによ

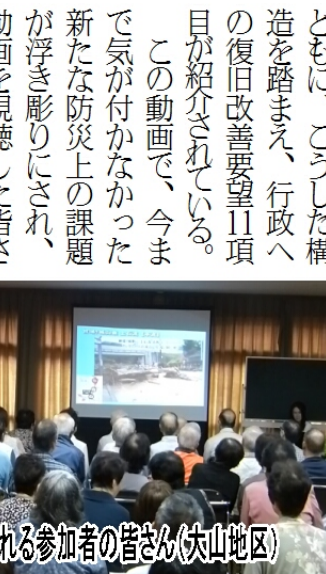
害や内水氾濫を引き起こした原因と思われる地形やインフラの構造を考察するとともに、こうした構造を踏まえ、行政への復旧改善要望項目が紹介されている。この動画で、今まで気が付かなかった新たな防災上の課題が浮き彫りにされ、動画を視聴した皆さんも身近な場所の映像でもあり、災害の恐ろしさを実感。防災意識を高め自ら行動することの大切さ



大きな災害のあった地域の地形とインフラ



を感しられていた。



動画を視聴される参加者の皆さん(大山地区)

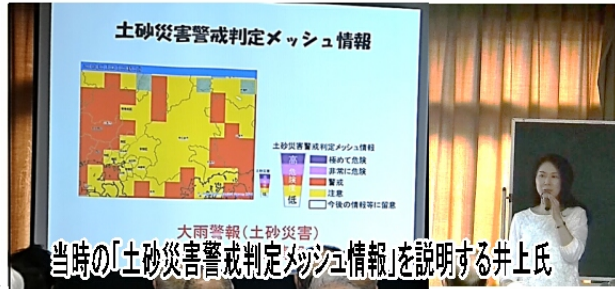
| 研修防災会 | 研修月日 | 参加人数 | 西日本豪雨災害映像記録 | 大雨災害から身を守るために | 土砂災害警戒区域の説明 | 広島土砂災害の経験 | 災害復旧事業等の説明 |
|-------------------|--------|------|-------------------|-------------------|--------------|------------------|-------------------------------|
| | | | 自治協防災本部作成 | 県自主防災アドバイザー 井上葉子氏 | 自治協広報部 景山 晟氏 | 広島市安佐南区 安部浩二氏 | 災害復旧推進課 危機管理課 |
| 八本松みなみ自主防災会 | 7月22日 | 45 | 速報版放映 | 気象情報収集と防災情報による行動 | | | |
| 大山ハイツ自主防災会 | 10月7日 | 80 | 確定版放映 | 気象情報収集と防災情報による行動 | 警戒区域と豪雨災害区域 | | |
| 日興苑自主防災会 | 11月4日 | 30 | 確定版放映 | 気象情報収集と防災情報による行動 | 警戒区域と豪雨災害区域 | | |
| 八本松南4・5自主防災会 | 11月11日 | 90 | 確定版放映 防災本部対応経過 | 直下地震の備えと発生時の初動 | 警戒区域と豪雨災害区域 | | |
| 八本松西(宗吉東南・北)自主防災会 | 11月18日 | 80 | 確定版放映 防災本部対応経過 | | 警戒区域と豪雨災害区域 | 災害発生前兆から避難所暮らしまで | 災害復旧事業 国直轄治山事業 防災情報発令基準 |
| 八本松中央自主防災会 | 11月25日 | 35 | 確定版放映 防災本部対応経過 | スムーズな避難のための準備 | 警戒区域と豪雨災害区域 | | |

各防災会の研修内容

大雨災害から身を守るために

早めに気象情報を入手し準備を

県自主防災アドバイザー
気象予報士
井上葉子氏



当時の「土砂災害警戒判定メッシュ情報」を説明する井上氏

ムページの天気予報欄にある「土砂災害警戒判定メッシュ情報」でも、今回豪雨のあった当日(7月6日)朝7時の情報で八本松は注意区域(メッシュ情報図)の中にあり、2時間以内に警戒区域に到達すると予想されていた。

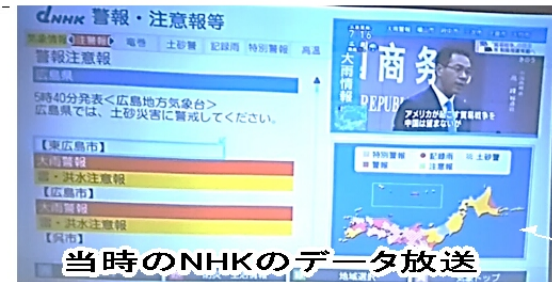
また、誰もが簡単に見れるテレビのデータ放送でも朝7時には大雨警戒が出され「土砂災害に警戒してください」と注意が喚起されていた。

さらに、市の災害情報も緊急告知ラジオ(市危機管理課扱い)で自動的に大音量で同様な情報が伝えられていた。

そのため、井上氏は「これらの情報に

「大雨災害から身を守るために」と題し講演された井上氏は、気象予報士の立場から、今回の豪雨は気象予報士仲間では大災害になることが予想されていたことを当時の天気図等から説明。

また、気象庁ホー



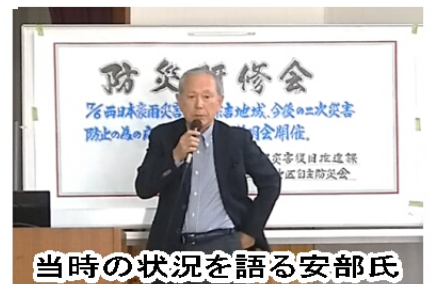
当時のNHKのデータ放送

広島土砂災害の教訓

八本松西
(宗吉東南・北)
地区研修会

自ら冷静な判断ができることが生死の分かれ目

安佐南区八木地区
安部浩二氏



当時の状況を語る安部氏

11月18日八本松西(宗吉東南・北)地区の防災研修会では広島市安佐南区八木地区で被災された安部浩二氏を招き「広島土砂災害を経験して」と題した講演が行われた。

安部氏は当時を振り返り「長雨が続いた。その日の朝、裏山を見て嫌な感じがした。夜からの大雨は滝の底のようで、雷は近づいたまま動かない。夜2時から3時の雨量は10分間で20mmに達するものすごい雨で線状降水帯も動かない。その時はいきなりドーンという音と

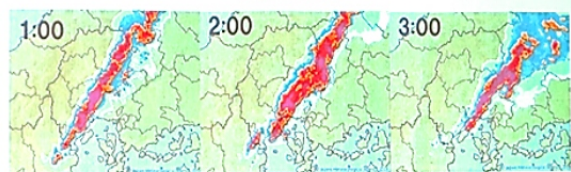
もにやってきた。一階で寝ていた私はいきなり濁流に襲われた。土砂災害とは知らず真つ暗の中で玄関の戸を足で蹴破り外の様子を見ると濁流で脱出不可。直ぐ二階に上がり気持ち落ち着けた。気が付くのが1-2分遅れていたら生きてはいない」と当時の様子を生々しく語り、被災時は自ら冷静な判断ができることが重要と力説。

八本松西(宗吉東南)地区は八木地区と同じ扇状地にあるうえ、今回小規模ながら土石流が起っており、参加者は八木地区の被災体験を真剣に受け止められた。

なお、八木地区の土砂災害は、行政が八木の被災区域を土砂災害警戒区域に指定する作業の直前に起ったもの。このため、住民の皆さんの意識向上が十分でなかったのが大きな被

害となった一因とされている。

8月20日のレーダー画像
(雨雲がほとんど動いていない)
線状降水帯



中国新聞(8/21付)より

